

# 新年法要のご案内

# 法徳寺だより

平成20年1月2日(水)

第一回 午前十一時～十二時  
第二回 午後一時半～二時半

(ご都合のよい回にお参りください)

毎年、お正月には、新年法要をお勤めしております。一年の始まりを、すがすがしい思いで「阿彌陀如来」の御前で、お参り致します。浄土真宗の初詣はお寺に参り、阿彌陀如来の救いに感謝致します。読み上げ、読経 法話がございます。当日は、甘酒をご用意しております。



《法要に持参する物》  
過去帳・位牌  
法名読み上げ用紙  
お念珠  
お経の本(お持ちの方)

第86号 発行  
浄土真宗本願寺派  
法徳寺  
厚木市岡田5-4-12  
TEL 046-228-3962  
住職 伊東英俊  
法話 伊東英幸  
編集 伊東祐子

1月 2日(水) 新年法要  
午前11時～12時 午後1時半～2時半  
1月20日(日) 築地本願寺成人式  
(詳しくは、築地本願寺ホームページをご覧ください。)

2月 1日(金) ニコニコ法話会 午後1時半～3時  
3月 3日(月) ニコニコ法話会 午後1時半～3時  
3月20日(木) 春分の日 春季彼岸会法要 午前11時～12時 午後1時半～2時半  
3月21日(金) 春季彼岸会法要 午前11時～12時  
＜春季彼岸会期間 3月17日(月)～23日(日)＞  
4月 2日(水) ニコニコ法話会 午後1時半～3時  
5月11日(日) 降誕会・永代経法要(5月のニコニコ法話会を兼ねております)  
6月 2日(月) ニコニコ法話会 午後1時半～3時  
7月 2日(水) ニコニコ法話会 午後1時半～3時  
8月15日(金)・16日(土) お盆法要  
8月20日(水) 法徳寺子ども会

## 年間行事予定♪

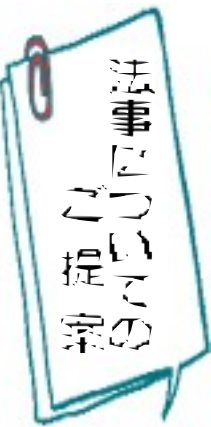
9月 2日(火) ニコニコ法話会 午後1時半～3時  
9月23日(火) 秋分の日 秋季彼岸会法要  
＜秋季彼岸会期間 9月20日(土)～26日(金)＞  
10月 2日(木) 念仏奉仕・ニコニコ法話会 午後1時半～3時  
10月 9日(木) 報恩講準備・速夜法要 午後5時～6時  
10月10日(金) 報恩講日中法要 午前11時～  
11月 4日(火) ニコニコ法話会 午後1時半～3時  
11月13日(木) 築地本願寺報恩講団体参拝 終日  
12月 2日(火) ニコニコ法話会 午後1時半～3時

都合により日時等を変更する場合がありますのでご了承下さい。  
時間の記載がないところは未定です。近くなりましたら、随時、ご案内いたします。  
《その他の行事》 初参式(赤ちゃんの初参り) いつでも受付しています。  
七五三 お寺で七五三のお祝い出来ます。

## 平成二十年度 年回表

一周忌	平成十九年	往生
三回忌	平成十八年	往生
七回忌	平成十四年	往生
十三回忌	平成八年	往生
十七回忌	平成四年	往生
二十三回忌	昭和六十一年	往生
二十五回忌	昭和五十九年	往生
二十七回忌	昭和五十七年	往生
三十三回忌	昭和五十一年	往生
五十回忌	昭和三十四年	往生

仏事のご依頼は、お早めにお願致します。日時は、皆さんが参りにご都合の良い日で宜しいと思えますが、土・日への、ご依頼が集中しておりますので、出来れば平日にお勤めいただく有り難いです。また、年回にあたり、来年の年回も、ご命日にはお参り致しますので、お気軽にお申し込み下さい。ホームページから、Eメールでも、お申し込み出来ます。



たとえば、墓地を霊園にお持ちの方でも、ご法事は、お寺でお勤めされてはいかがでしょうか？  
お参りは、常日頃から行かれ、お寺にお参りされる機会も、なかなかありません。特に、ご親戚の方は、ほとんどありません。お子さんにとっても、お寺にお参りするというのは、非常に大切な経験かと思えます。同じ、法事を勤めるのでも、霊園の簡易礼拝堂と、お寺の本堂では、雰囲気も大きく違い、とつぜん、お参りされる皆様の供養する心持ちも違うのではないのでしょうか。  
亡き方の大切なご法事の時は、皆さんで、お寺にお参りされることをお薦めしたいと思います。  
また、**法徳寺では、本堂使用料などはありません。**墓参りは、前日に済まされるの方が宜しいかと思えます。法事の当日は、遠方からお参りされる方も考え、

なるべく、移動などは、最小限にとどめ、時間も長引かない方が宜しいです。浄土真宗のご法事は、必ず、お参りをしなければいけないという事はありません。亡き方は、お墓の中にいらつしやるのでありません。いつも、阿彌陀如来と共に、皆様のそばにいらつしやるのです。ですから、阿彌陀如来の前にお参りされること、即ち、亡き方にお参りすることであり、私たちが、仏様の教えをお聞かせ頂き、阿彌陀如来に救われる身であることを喜ばせて頂きたいものであります。  
どうぞ、皆様で素晴らしいご法事にして下さい。素晴らしいご法事は、皆様が仏様の救いに出会うことです。  
法徳寺では、少人数から大人数まで、ご使用頂ける接待所があります。本堂でのご法事後、ご希望なら、そのまま接待所にて、食事の席を設けられます。食事のパンフレット等もございますので、お気軽に、お問い合わせ下さい。

法徳寺  
046・228・3962

## ご案内

法徳寺には、敷地内に永代合祀墓がございます。ご納骨をご希望の方は、お気軽にご相談下さい。



## 平成20年 護持金 3000円の納入のお願い

今年も何卒、ご協力を、お願い致します。ご納入頂いたお金は、『法徳寺だより』の発行・郵送だけでなく、お寺の護持発展、教化活動の為に使わせて頂いております。



七五三のお参りありがとうございました  
甲斐 さん 様



法徳寺のホームページを開設しております。  
<http://homepage3.nifty.com/houtokuji/>

# 築地団体参拝レポート

平成19年11月15日、築地本願寺報恩講に、法徳寺から総勢50名で団体参拝致しました。

大変好評をいただいている参拝ですが、毎年、午前中は、本願寺にお参り致します。

法要には、雅楽の入る素晴らしい読経を聞かせていただき、続いて、有り難い法話を聴聞させて頂きました。

また、法要の後は、美味しい報恩講弁当をいただきました。それから、築地場外市場で買い物をしたり、屋台のラーメンやお寿司を食べておられる方もいました。

また、元築地本願寺職員、法徳寺伊勢原分院 毛利主管者の築地本願寺ミステリアが行われました。なぜ、築地というのか？なぜ、インド風建築なのか？築地本願寺には、設計者、伊東忠太博士の遊び心が、いっぱい？法要の際に鳴る、鐘は、どこにあるのか？職員は、どこに住んでいるのか？・・・など、いろいろ、明らかにしました(笑)。

午後からは、毎年都内の名所を見学します。今年は銀座をバスで見学しました。皇居、警視庁、国会議事堂などを通り、首都高、中央道を通り、国道20号に出ました。黄色く色づいたイチョウ並木を通り、多摩御陵に到着しました。多摩御陵は、昭和2年に大正天皇御陵として多摩陵が建立され、その後貞明皇后の多摩東御陵が昭和26年に建立されているところです。また、平成に入って昭和天皇の武蔵野御陵、その後香淳皇后の武蔵野東御陵が建立されました。そして、甲州街道の銀杏並木は、昭和2年2月、多摩御陵が造営されたのを記念して植樹されたそうで、なかなかの見頃でした。

当日ご参加下さった皆様、ありがとうございました。また毎年、午後のコースを変えて行っておりますので、来年も是非ご参加下さい。



# 法話

11月の中旬に、私は、朝4時過ぎに、250ccのオートバイに乗り、ひとりで出かけまして、妙義山、軽井沢、鬼押し出しなどをツーリングしてきました。

特に、白根・浅間火山ルートから見る、雪化粧をした浅間山が大変美しく感動致しました。

人間は、美しいものに出会うと救われるのです。美しいものに出会うと、生きる力がわいてくるのです。

よく、お寺に来ると、ほっとします。安らぎますというお声を聞くのですが、それは、仏様の美しい心に触れるからではないでしょうか。



ある布教使さんは、こう言いました。

『お参り下さいました皆様は、ご先祖様、亡き方から、受け継いだ、共通な遺伝子をお持ちです。お参りしますと、その遺伝子が喜んでくれるのではないのでしょうか。遺伝子が喜ぶから、心が安らぐのです。人間の心の奥底には、亡き方が、「幸せになってほしいよ、どんな困難も乗り越えてほしいよ」という願いをかけた遺伝子をもっているんじゃないでしょうか。その遺伝子を喜ばすことをすると、どんな困難を乗り越えていくような力がわきあこるのではないのでしょうか。その遺伝子を喜ばせるには、お寺にお参りして、法話を聞かせて頂くことが大切です。』という法話をされました。

私は、死んだら終わりではない、永遠のいのちを今、生きているのです。だからこそ、今を一生懸命生き続けねばならないのです。

この世で、すべてが終わりのなれば浄土へ救われる必要はありません。仏様は、私たちを、真実の安らぎの世界、浄土へ救いとうとされているのです。

どうぞ、初めよく、真ん中もよく、終わりもよく、悔いのない人生送らせてもらいましょう。

(副任職 伊東 英幸)

# 法徳寺本堂の紹介

山号：知恩山高栄院

宗派：浄土真宗本願寺派

本山：京都、西本願寺

本尊：阿彌陀如来立像

開山：教信(永正元年1504年往生)

本堂は、寛政12年(1800年)

の建築、当時の住職、第13世祐慶師の時代に建立されました。

昭和50年、大修復。祐慶師は、静岡県蒲原にありま

す。長榮寺様から、お出でになり、大

変、法徳寺を盛りたてて下さった

お方です。しかし、雷に打たれ、

若くして往生されたそうです。

須弥壇(阿彌陀様が御安置されているところ)は、部材の墨書

から享保3年(1718年)に、飯山村(現厚木市飯山)の大工、西海空兵衛ほか4名によって作られたことがわかります。つまり、その前の本堂の時期です。

当時の住職、空恵師の文字で、全門徒が協力して、阿彌陀様に救われた喜び、報恩謝徳の為に建立したという、文字に感動致します。



来年度もどうぞ宜しくお願いします。お正月の初参りには、多数のご参詣をお待ちしております。尚、この新年号の法徳寺だよりにて年賀状にかえさせていただきます。住職 伊東英俊 副住職 伊東英幸 副任職 伊東知幸 分院主管 毛利祥生

